



Astena Holdings Co., Ltd.
COMPANY PROFILE

Diversify for Tomorrow.

アステナグループは、持株会社であるアステナホールディングスを核として
ファインケミカル事業、HBC・食品事業、医薬事業、化学品事業、
ソーシャルインパクト事業の5事業の各社で構成されています。
さらにESG経営による持続的な成長を目指すべく
新規事業への投資と育成にも取り組んでまいります。

社名の意味

アステナは「明日（未来）」と「サステナブル（持続可能）」の造語であり、
新たな経営・ガバナンス形態の下で、アステナグループのステークホルダーである皆
様と当社自身が持続的に健やかな未来を迎えるようなビジネスを行っていく
願いを込めています。

ロゴの意味

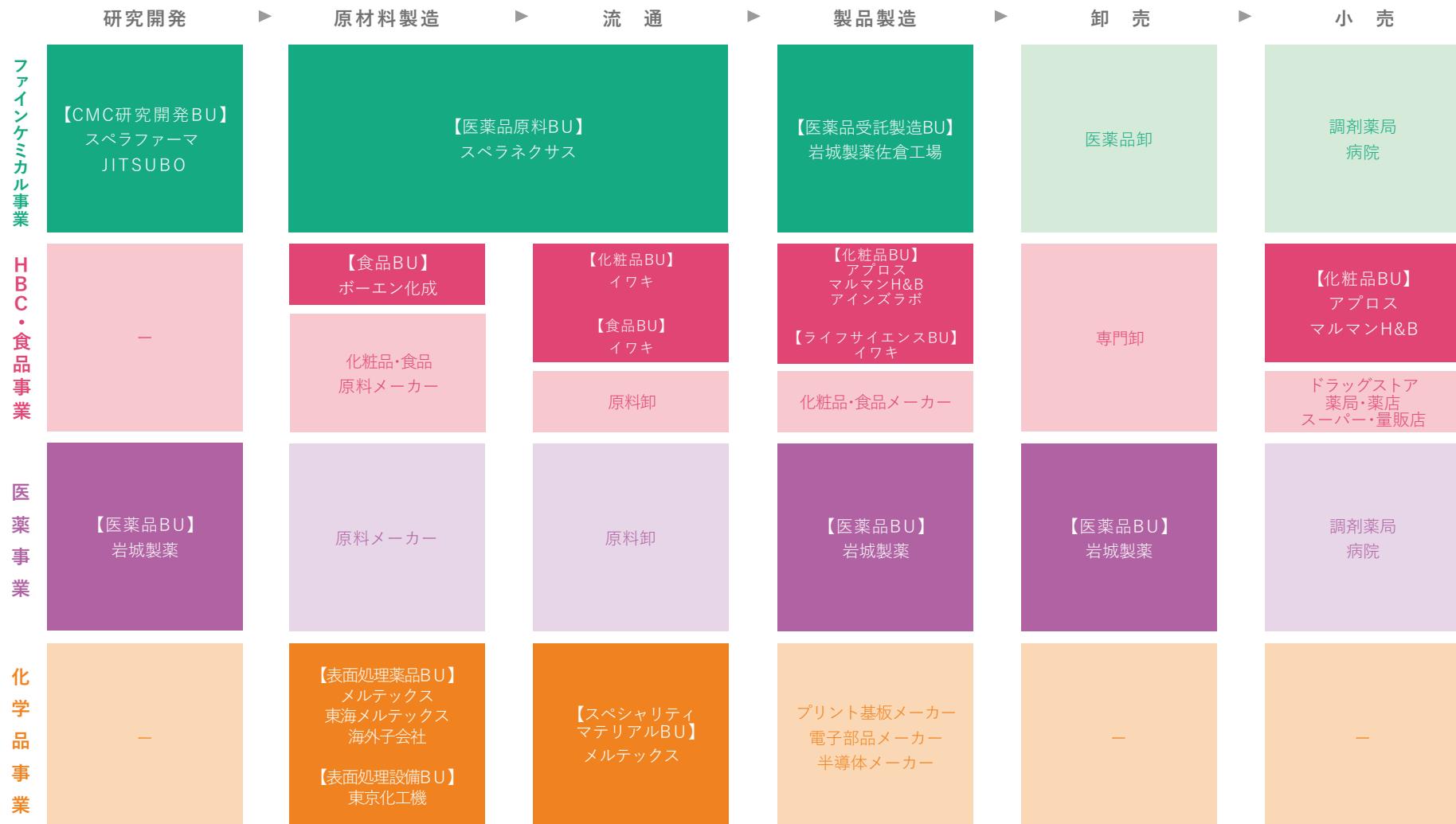
DNAをモチーフにすることで
伝統と先進性を両立するイメージを表現しました。



事業セグメント

バリューチェーン（売上計上マップ）

アステナグループは、ファインケミカルをはじめとした5つの事業において、研究開発から販売業まで幅広いバリューチェーンを持っています。



※ソーシャルインパクト事業は広範な分野に事業を展開しているため記載しておりません。

※BU：ビジネスユニット（会計上売上を認識しているユニット）

事業セグメント

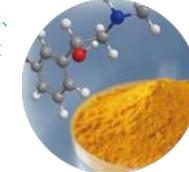


ファイン ケミカル 事業

ファインケミカル事業は、CMC事業*1、CDMO事業*2、調達プラットフォーム事業の3事業を柱とし、医薬品開発・製造分野において幅広く展開しています。CMC事業は、開発ステージに適した医療用医薬品の研究開発、治験原薬・治験薬製造などのサービスをハイレベルで提供しています。CDMO事業は、固形製剤、注射製剤の治験薬製造から商用製造が可能な設備を有しています。注射設備においては、日米欧の3極PIC/S GMPに準拠するカテゴリー5相当の封じ込めに対応しています。調達プラットフォーム事業では、多彩かつ高度な大量製造技術を活かし、ジェネリック医薬品の商用原薬の製造、新薬の中間体および原薬の受託製造を手がけ、国内外の信頼あるメーカーから、各種原料・中間体・添加物などの調達と販売を行っています。また、独自の合成技術を活かし、環境に優しく高品質・低コストで、ペプチド原薬の製造プロセスの開発・技術移管・ライセンス事業を行うほか、創薬インキュベーション事業として、ベンチャーなどへの出資を通して、国内の新薬開発に貢献しています。

*1 CMC : Chemistry, Manufacturing and Control

*2 CDMO : Contract Development & Manufacturing Organization



スペラファーマ

スペラネクサス



岩城製薬佐倉工場株式会社

Jitsubo



HBC・食品 事業

HBC・食品事業は、化粧品、食品、ライフサイエンスの各分野において、原料の供給から最終製品の開発・販売まで、幅広い事業を展開しています。化粧品ビジネスユニットでは、独自性と豊富なラインナップを強みとした化粧品原料の提供に加え、ユーザーのお悩みに応える最終製品の開発・販売、さらに独自スキームを活かした化粧品導入支援事業を行っています。食品ビジネスユニットでは、一般加工食品から機能性食品まで幅広い品揃えを強みとした食品原料の提供、健康をサポートする最終製品の開発・販売に取り組んでいます。ライフサイエンスビジネスユニットでは、創薬支援、体外診断用医薬品、医療機器、薬事サポートなどを通じて、人々の健康を支えるソリューションをご提供しています。私たちは、既存事業の「深化」と新規事業の「進化」に取り組み、お客様から「選ばれる」存在を目指しています。

*HBCは「Health & Beauty Care」の略称です。



イワキ株式会社

APROS

maruman

ains-lab

ボーエン化成株式会社

※持分法適用会社



医薬事業

医薬事業は、医薬品ならびに化粧品の開発・製造・販売を行っています。医薬品は、軟膏やクリーム・ローションなどの半固体製剤の開発・製造・販売や錠剤・散剤など固体剤の製造・販売を行っています。特に、主力の皮膚外用剤としてステロイド外用剤は10成分25品目、抗真菌外用剤は6成分12品目と様々な成分・剤型を用意し、皮膚疾患治療の基礎となる薬剤をニーズに合わせて提供しています。長年の医薬品製造で蓄積した技術、徹底した製造管理・品質管理、MRによる情報提供活動により、安心して使っていただける医薬品をお届けしています。また、化粧品として美容施術の前後にも使用していただける医療機関専売化粧品「ナビジョンDR」ブランドを展開しています。皮膚領域における医療関係者との絆を強みとし、美容医療をより身近な存在と感じ、肌をより良いコンディションに整えたい方々をサポートしています。



岩城製薬株式会社



化学品事業

化学品事業は、表面処理薬品の先端を目指し、高品質高性能な薬品のグローバルな提供をはじめ、研究開発や製造方法の開発に注力しています。プリント基板セグメント向けとしてビルトアップ基板を中心とし、高機能ピアファイル用めっき薬品や精度の高いシード層エッチング液、電子部品セグメント向けにMLCC素材に適応したすずめっき薬品、半導体セグメント向けにはセンサーやパワーモジュール向けに種々薬品を提供しています。また、今後変化が大きい自動車用途向けには、新しいニーズにお応えすべく開発を進めています。さらに、各種めっき処理に関する機器・装置や金属塩および薬品原料、消耗品の販売も展開し、薬品と装置の総合的なソリューションを提供しています。



Meltex

TCM



ソーシャル インパクト 事業

ソーシャルインパクト事業は、社会的な課題の解決を目指す事業を展開しています。特に地域社会と共に事業を創り上げる地域共創型の事業に力を入れています。2014年に「まち・ひと・しごと創生『長期ビジョン』」が策定され、人口急減・超高齢化の進展、将来の地域社会の存続危機という課題に対する政策が実行されてきました。その結果、社会的な課題の認識は進みましたが、それらの多くは未解決です。当社は能登半島の最先端に位置する石川県珠洲市に拠点を置き、地域の皆様とともに地域資源の付加価値を向上させ、循環型地域経済の構築に貢献します。



ASTENA Minerva

NAIA

PIXTURE

沿革

1914	大正 3年	薬種問屋、岩城市太郎商店創業	2011	平成 23年	株式交換によりメルテックス株式会社を完全子会社化
1931	昭和 16年	合資会社岩城製薬所創設（現 岩城製薬株式会社）	2014	平成 26年	創業100周年を迎える
1937	昭和 12年	大阪出張所開設	2017	平成 29年	岩城慶太郎 社長就任
1939	昭和 14年	岩城薬品株式会社設立（1986年12月吸収合併）	2020	令和 2年	スペラファーマ株式会社を完全子会社化
1941	昭和 16年	岩城市太郎商店を株式会社岩城商店に改称			岩城製薬佐倉工場株式会社を孫会社化
1953	昭和 28年	福岡出張所開設			イワキ分割準備株式会社設立（現 イワキ株式会社）
1954	昭和 29年	名古屋出張所開設			スペラネクサス株式会社設立
1955	昭和 30年	富山出張所開設			マルマンH&B株式会社を完全子会社化
1962	昭和 37年	岩城謙太郎 社長就任	2021	令和 3年	アステナハートフル株式会社設立
1963	昭和 38年	イワキ株式会社に商号変更			JITSUBO株式会社を孫会社化
		東京証券取引所市場第二部に上場			アステナホールディングス株式会社に商号変更
1964	昭和 39年	大阪証券取引所市場第二部に上場（2024年1月上場廃止）			珠洲本社開設
1965	昭和 40年	ボーエン化成株式会社設立			奥能登SDGs投資事業有限責任組合設立（のとSDGsファンド）
1986	昭和 61年	岩城薬品株式会社を吸収合併			株式会社イワキ総合研究所をアステナミネルヴァ株式会社に商号変更
1989	平成 元年	本社ビル竣工			東京証券取引所市場第一部からプライム市場に移行
1994	平成 6年	岩城修 社長就任			株式会社AINZLAボを孫会社化
2000	平成 12年	アプロス株式会社設立			株式会社PIXTURE設立
2005	平成 17年	東京証券取引所市場第一部指定			AMトレーディング株式会社設立（現 株式会社NAIA）
2010	平成 22年	メルテックス株式会社、東海メルテックス株式会社および東京化工機株式会社を連結子会社化			TUAT1号投資事業有限責任組合設立（TUATファンド）
					瀬戸口智 社長就任
					創業110周年を迎える
					AMトレーディング株式会社を株式会社NAIAに商号変更



1941年（昭和16年）岩城商店に改称



1963年（昭和38年）
創業50周年記念祝賀会（於サンケイホール）



1989年（平成元年）
現在の本社ビル竣工



2014年（平成26年）
創業100周年感謝の会（於ホテルニューオータニ）

ファインケミカル事業

HBC・食品事業

医薬事業

化学品事業

ソーシャルインパクト事業



TOP MESSAGE

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社の創業者である岩城市太郎は、1923年の関東大震災で薬種問屋を営んでいた店舗を焼失。その2日後、単身で大阪・道修町まで薬を仕入れに行きました。東京の医薬品相場は高騰していましたが、市太郎は頑なに定価販売を継続。以来、「東京でクスリを買うならイワキ」と、お取引先様にご評価頂けるようになったという話は私の好きな当社のエピソードの一つです。

それから100年、2021年の持株会社体制への移行を機に「イワキ株式会社」から社名を変更。石川県珠洲市に本社機能の一部を移転し、新しい企業グループへとして生まれ変わりました。

今日においても、我々の基本的理念「誠実」「信用」「貢献」に「変革」「連携」を加えた「SPIRIT」はグループの役職員の行動指針として根付いております。

2024年、当社は創業110年を迎えました。

創業者から脈々と受け継いだ「SPIRIT」と経営資源を最大限に活用し、役職員1人1人が率先してステークホルダーである皆様の幸せに寄与する活動をしてまいります。



代表取締役社長
瀬戸口 智

Diversify for Tomorrow.



www.astena-hd.com